



公民館だより

公民館で、
学ぼう！集まろう！
つながろう！



ひよこクラブ「絵本の読み聞かせ」・「運動会」

ひよこクラブ（乳幼児教育学級）では、11月10日（木）に「みきおはなし会＊絵本の森」の皆さんに「絵本の読み聞かせ」をしていただきました。



11月17日（木）には、川村侑香里さんのご指導のもと「運動会」を開催しました。



ひよこクラブ 1月の予定

12日（木）10:00～

「親子でトランポ・ロビックス」

講師：兵庫県トランポ・ロビックス協会

山本 孝代さん



老人クラブ「花いっぱい運動」

11月10日（木）、毎年恒例の「花いっぱい運動」が実施されました。

細川町公民館の玄関前で、老人クラブ連合会の皆さんにより920本のピオラの苗をプランターに手際よく植えていただきました。



なごみのふれあいサロン

11月24日（木）、細川町公民館で「なごみのふれあいサロン」が開催されました。

いつものように地域福祉センターの堀さんによる体操指導のあと、保健士さんから健康指導がありました。

そして、細川駐在所の堀田さんから市内でも被害が出ている還付金詐欺等、防犯についてのお話をいただきました。



第47回 藤原惺窩まつり 短歌・俳句・川柳 入選おめでとうございます！

【短歌の部】*敬称略

林 紗良（豊地小学校6年）
 枚田 楓花（豊地小学校6年）
 溝下 翔也（三木中学校1年）
 三宅 和音（三木中学校2年）
 近藤 裕美（神戸市西区）
 田中 正人（神戸市東灘区）

【俳句の部】*敬称略

井上 陽月（豊地小学校1年）
 小西 芙季（豊地小学校6年）
 面出 結衣（三木中学校2年）
 常下 柚季（三木中学校2年）
 近藤 一枝（神戸市西区）
 中井 清子（三木市細川町）

【川柳の部】*敬称略

村上 怜（豊地小学校2年）
 近田 煌貴（三木中学校2年）
 中尾 浩輔（三木中学校2年）
 中井 啓之（三木市福井）
 中島 英三（三木市緑が丘町）



※細川町・三木市・神戸市内の79名の方から計172作品のご応募をいただきました。

北条の五百羅漢・富久錦・鶉野飛行場跡の見学を終えて

11月18日（金）、ゆとり講座の館外研修として加西市の「北条の五百羅漢」「富久錦」「鶉野飛行場跡」を見学しました。

五百羅漢 ガイドボランティアさんに丁寧な説明をしていただきながら、江戸初期に作られた石仏500体を見学しました。



【北条の五百羅漢】



「誰かに似た像が」と古くから信仰や伝承の対象になっているそうです。

富久錦 江戸時代の天保10年（1839年）に創業された酒蔵です。長年培われてきた技と知恵で、加西市でとれた米をつかって、手作りで純米酒だけを作り続けておられます。



【酒蔵「富久錦」】

鶉野飛行場跡 第二次世界大戦時、戦局が悪化し始めた頃、姫路海軍航空隊において神風特別攻撃隊「白鷺隊」が結成され、ここから63名の隊員が飛び立ちました。また、ここには川西航空機姫路工場があり、終戦までに「紫電」「紫電改」など500機余りの戦闘機が組み立てられたそうです。

ガイドボランティアさんの案内で、約1時間30分をかけて「巨大防空壕跡」「機銃座跡」などの戦争遺跡群や「sora かさいミュージアム」を見学しました。



【巨大防空壕内部】



【機銃座跡】



【sora かさいミュージアム】

好天のもと、秋の深まりを感じながら「北条の五百羅漢」の500体の石仏を見て、当時の人たちの信仰心の厚さ、そして酒蔵「富久錦」で江戸時代から今も守り続ける酒造りの技・知恵・心に深い感銘を受けました。

また、「鶉野飛行場跡」では、多くの若者が戦場に向けて飛び立った滑走路や空襲を避けて逃げ込んだ巨大防空壕跡等を見学し、あらためて戦争の恐ろしさ、平和の大切さ等について考える機会となり、1日を通してとても充実した館外研修となり、参加者の皆様方からもお礼の言葉をいただきました。

昭和58年7月27日発行の「公民館だより（No.29）」掲載の『ふるさとたんほう20 <曹洞宗 友松寺山門（下南）>を紹介しします。

復刻版

ふるさとたんほう 20

曹洞宗 友松寺山門（下南）

中里の万年山友松寺の山門は、明和五年（一七六八年）の建立であることは棟札により明らかであるが、その際、淡河下村にあった天正寺の山門を移築したものと伝えられてきた。しかし、手にはこれを裏付ける記録は何一つなかった。

この山門も元朽化に勝てず改築されることとなりこの春より着工、新しい山門に建て替わった。施工業者・常深工務店では、「解体の結果、以前の山門は伝承どうり天正寺より移築された事は間違いない。新しい山門も出来る限り以前の山門の復元に努力しました。」との言葉通り、新山門は木の香りも新たに、四百年前の天正の姿によみがえった。豪華な構えと精巧な造作

は大名家の菩提寺の風格を漂わせている。天正年間の羽柴秀吉による三木城攻めの際、有馬則頼は別所氏と同じ赤松氏の支流ながら、秀吉方に味方して戦った。とくに淡河城へ（淡河陣正）攻めに功を奏し、戦後淡河城を賜わり大名に取り立てられた。この時下村に菩提寺として梅林山天正寺を建立した。

その後、長松寺をも建立して両寺は共に有馬家初期の菩提寺として栄えた。有馬則頼は関ヶ原の戦いには東軍に属して、戦い三田に移封されこの地で七くなくなった。二代目豊氏は九州・久留米に移封され、二十一の願を明石藩の役所に願い出たが、刊規の事

孫々相継ぎ明治に至り伯爵を賜わった。従って淡河は有馬家にとってはお宝の地であり、久留米より江戸への参勤の途中、加古川より家臣に命じて両寺に茶湯料を寄納したと伝えられる。

天正寺は明治維新の変革により寺勢が衰え、ついに明治九年長松寺に併合して三百年の法燈は途絶えた。有馬家ではこの寺号を九州宮崎県那珂郡に移し、同家の菩提寺として存続している。

古い山門の棟札には漢文体にて大方次の字柄が書き記されているので参考までに……。

元文中に当寺の二世、中興領志忠寂和尚が任職の時に新門建立の願を明石藩の役所に願い出たが、刊規の事

か三十余年経て置かれた。檀越安福深右エ門小野好孝公が大匠屋ゆえ願書を書き出した所早速許可が降り、門建立の儀、坪の構え（門内の建物）を建立してよいとの旨が申し渡された。

明和三年の秋、三ヶ村の檀家に寄進（寄付金）を募り明和五年の春三月に造営、同六日標上げを行なった。

播州三木郡小川谷万年山友松禅寺五世玄妙直致詠 願領上南村常深松右エ門唯電一人に建立

文 信国 清

400年前の姿によみがえった友松寺山門



※次回は『ふるさとたんほう21 <三坂神社の影に消えた神宮寺>』を掲載します。お楽しみに。

〒673-0713
 三木市細川町豊地55-1
 発行 細川町公民館
 Tel0794-86-2059
 fax0794-86-2870
 （令和5年1月）



細川町公民館カレンダー

日	曜	行事予定	開催時間	備考
1	日	元日 年末年始休館日 〈令和4年12月28日（水）～令和5年1月4日（水）まで〉		ふれあいバス運休のお知らせ 令和4年12月29日（木）～ 令和5年1月3日（火）
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土	スポーツ21 ステップエクササイズ 講師：川端 敦子さん	12:30～	
8	日			
9	月	成人の日 休館日		
10	火	買い物バス体験会（マックスパリュ恵比須）	神姫バス9:40発	細川町公民館前
		細川町区長協議会	19:30～	
		細川町老人クラブ新年交礼会	11:30～	神戸ホテルフルーツフラワー
11	水			
12	木	乳幼児教育学級【トランポリンボックス】 講師：山本 孝代さん	10:00～	
13	金	買い物バス体験会（マックスパリュ恵比須）	神姫バス9:40発	細川町公民館前
14	土			
15	日			
16	月			
17	火			
18	水	ふれあいバス定例会	13:00～	
		登録団体連絡会	14:00～	
19	木			
20	金			
21	土	スポーツ21 フープエクササイズ 講師：川端 敦子さん	12:30～	
22	日			
23	月			
24	火			
25	水	子育てキャラバン	10:00～	
26	木	ふれあいサロン（なごみ会）【ハーモニカ演奏】	10:00～	
27	金	サロン『パンダ』	10:00～	
		暮らし・生活部会	19:30～	
28	土			
29	日			
30	月			
31	火	月末休館日		

※掲載内容は、12月10日現在のものです。内容変更がありましてもご了承ください。

※日曜日の公民館閉館時間は午後5時です。